2025年　千葉県稲門祭

『世界へ』

～新たなる飛躍に向けて～

ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵攻はいまだ止む気配をみせず、一方経済では米国のトランプ大統領による相互関税によって世界中が混乱の渦中に巻き込まれています。そういった混沌とした中ではありますが、今日一日はすべてを忘れて千葉県稲門祭を楽しんでください。今回は箱根駅伝のスーパーエースとして活躍された瀬古利彦さんを講師にお招きしています。瀬古利彦さんから早稲田大学駅伝部の現在の状況や新年の早稲田の駅伝の予想をお話しいただこうと思います。瀬古さんのお話を聞いて、正月は箱根駅伝で早稲田を応援しようではありませんか。また今年も田中総長においでいただいております。田中総長からは早稲田１５０周年を迎えるに当たり、新たな飛躍に向けての早稲田大学についてお話しいただきます。

２０２５年千葉県稲門祭の概要（対面・リモート併用開催）

日時：11 月３０日（日）　　会場：東京ベイ幕張ホール　　会費：11,000 円/人　リモート；1000 円/人

第一部　講演会（午後２時３０分～３時３０分）

演題：　『心で走る』～マラソンのスーパーエース瀬古さんに聞く～

講演者：　瀬古利彦

第二部　総長懇談会（午後３時４０分～4 時５５分）　　田中愛治早稲田大学総長

第三部　懇親会（午後５時 10 分～7 時３５分）

会食（コース料理）／応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団よる演奏、校歌斉唱（応援部）

早稲田大学校友会　千葉県支部

心で走る　～マラソンのスーパーエース瀬古さんに聞く～

第一部　講演会　講演者のご紹介

《瀬古利彦氏　(株)ディー・エヌ・エー　フェロー
DeNAランニングアカデミー育成アドバイザー》

略歴：1956年、三重県生まれ。
高校時代から本格的に陸上を始め、インターハイでは800m・1500mで二年連続二冠を達成。
早稲田大学へ進み、故中村清監督の元、ランナーとしての才能を開花。
箱根駅伝では4年連続で「花の2区」を走り、3、4年次では区間新（当時）を獲得するなど、スーパーエースとして活躍した。
トラック・駅伝のみならず大学時代からマラソンで活躍し、国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。
現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。
「徹子の部屋」をはじめ、テレビ、ラジオにも多数出演。

第二部　総長懇談会

田中愛治総長２年連続ご登壇

今年も田中総長が出席され２０３２年に創立１５０周年を迎える早稲田大学が新たなる飛躍に向けてどのように進んでいくのか、また「社会が求める早稲田大学の姿は何か」について熱く語られます。
第 17 代早稲田大学総長　田中愛治氏は 1951 年 11 月 17 日生。日本の政治学者。専攻は計量政治学、政治過程論。世界政治学会（IPSA）会長を歴任。一般社団法人日本私立大学連盟会長。日本私立大学団体連合会会長。全私学連合代表。北京大学名誉博士。

第三部　懇親会

今年の懇親会は例年同様、早稲田の校友のみなさんがここに集い、より旧交を温めていただき楽しい時間を過ごしていただけるようお食事もお飲み物も豊富に用意いたしました。宴会の最後は応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団による恒例の校歌斉唱です。指揮に合わせてみんなで肩を組み早稲田大学校歌を高らかに歌い県稲門祭の終わりを惜しみましょう。

●問合せ先 ： 早稲田大学校友会千葉県支部
事務局長 増井孝史　　E-mail :kobufutagami01@jcom.zaq.ne.jp